

令和5年度 外国語 英語コミュニケーション I (園芸科) シラバス

科目	英語コミュニケーション I	単位	2	学年	1	
使用教科書	Vivid English Communication I (第一学習社)			副教材等	なし	

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
4	オリエンテーション	「英語コミュニケーション I」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。				
	Focus on Five Skill Areas 0	英語で授業を行い、ペアワークやグループワークを実施するにあたり、コミュニケーションを円滑に行うためのコツを確認させる。	○			
	Lesson1 #Share Your World	<題材内容とねらい> ・SNS のメリットやデメリットについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、最近の出来事などに関する投稿文を書いたり、伝え合うことができる。 <文型・文法事項> ・現在・過去・未来、助動詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での SNS の投稿文の特徴を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
5	Additional Lesson 1 Ask Friends and Followers for Advice on Social Media	<題材内容とねらい> ・にゃんこの投稿やそれに対するコメントの内容を理解することができる。 ・困っていることや悩みに関する投稿文を書くことができる。		○	○	・授業での取り組み

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
6	Lesson 2 I Was Drinking Chocolate!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きな食べ物や飲み物についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行形、不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく発表しようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 2 Let's Buy Fair-trade Chocolate!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードに関するリーフレットの内容を理解することができる。 ・フェアトレード商品を買いたいかどうか話することができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
	Lesson 3 Inspiration on the Ice	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽生結弦選手の活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、羽生選手への応援メッセージを書くことができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O(=that-節)、現在完了形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく応援メッセージを書こうとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
7	Additional Lesson 3 Good to Be Different	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一ノ瀬メイ選手のインタビューの内容を理解することができる。 ・different なことからについて話すことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
	<p>第1学期の評価方法</p> <p><評価の対象></p> <p>①期末考査の成績、②Lesson 1～3、Additional Lesson 1～3 各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					
9	Lesson 4 Esports' Time Has Arrived	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創作したゲームキャラクターに関する説明文を書いて、それを伝えることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較(比較級・最上級・原級)、S+V+O+to-不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語が指す内容に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、わかりやすくゲームキャラクターの紹介をしようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 4 Welcome to an Esports Tournament!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツのトーナメントに関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・日本の高校生がトーナメントに参加しやすい条件について書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
10	Lesson 5 Mansai, Kyogen Performer	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村萬斎さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、日本の文化や芸能について説明をし、質疑応答やコメントをすることができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
		<文型・文法事項> ・分詞(現在分詞・過去分詞), It is ... (for A) to ~について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(説明・描写, 提案)を理解し, 事実や情報, 自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 <場面・状況など> ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して, わかりやすく日本の文化や芸能について説明しようとしている。	○			
	Additional Lesson 5 "Favorite" Encounters	<題材内容とねらい> ・今野玲央さんの SNS の投稿の内容を理解することができる。 ・あなたが好きなことやものに関するきっかけなどについて話すことができる。		○ ○		・授業での取り組み
11	Lesson 6 <i>In this Corner of the World</i>	<題材内容とねらい> ・『この世界の片隅に』の特徴についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 『この世界の片隅に』の一節を演じることができる。 <文型・文法事項> ・現在完了進行形, 関係代名詞(主格・目的格), S+V+O(=疑問詞節)について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(相づち, 聞き直し)を理解し, 円滑にコミュニケーションをすることができる。 <場面・状況など> ・英語のシナリオの特徴を理解し, 聞き手に配慮して, わかりやすく演じようとしている。	○	○ ○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 6 Japanese Students Appeal for World Peace	<題材内容とねらい> ・日本の高校生の活躍に関する新聞記事の内容を理解することができる。 ・あなたが世界平和のためにできることについて書くことができる。		○ ○		・授業での取り組み
	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	<題材内容とねらい> ・24 時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, オリジナルの店舗についてディスカッションをすることができる。 <文型・文法事項> ・S+V+O+O(=that-節), 助動詞+受け身, 関係代名詞 what, 過去完了形について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(質問, 共感, 驚き)を理解し, 円滑にコミュニケーションをすることができる。 <場面・状況など> ・英語でのディスカッションの方法を理解し, 聞き手に配慮して, わかりやすく話そうとしている。	○	○ ○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
12	Additional Lesson 7 The Changing Meaning of "Convenience"	<題材内容とねらい> ・コンビニエンスストアに関する英文の内容を理解することができる。 ・グラフから読み取れることについて話すことができる。		○ ○		・授業での取り組み
第 2 学期の評価方法 <評価の対象> ①期末考査の成績, ②Lesson 4~7, Additional Lesson 4~7 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
1	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI の特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、グラフから自動運転車に関する日本人とアメリカ人の意識の違いを読み取り、それを説明することができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・some / others, 分詞構文, 関係副詞 (where, when, why, how) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコースマーカ―に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 8 Machine Translation: No Need to Learn English?	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械翻訳に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・機械翻訳の便利な点と問題点について書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
2	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、学校の環境問題の改善を訴えるためのパラグラフを書くことができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(=原形不定詞・現在分詞), 条件を表す if-節, 仮定法過去について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での SNS の投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく環境改善を訴えるパラグラフを書こうとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 9 A Boy Helps to Solve the Microplastic Problem	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック問題に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・プラスチックを使わない生活が可能かどうか話すことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
3	Optional Lesson A Retrieved Reformation	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを伝え合うことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。	○			
<p>第3学期の評価方法</p> <p><評価の対象></p> <p>①学年末考査の成績, ②Lesson 8~9, Additional Lesson 8~9, Optional Lesson 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>						
<p>学年の評価方法</p> <p>①知識・技能, ②思考・判断・表現, ③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。</p>						

令和5年度 外国語 英語コミュニケーション I (普通科) シラバス

科目	英語コミュニケーション I	単位	3	学年	1	
使用教科書	Vivid English Communication I (第一学習社)			副教材等	なし	

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
4	オリエンテーション	「英語コミュニケーション I」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。				
	Focus on Five Skill Areas 0	英語で授業を行い、ペアワークやグループワークを実施するにあたり、コミュニケーションを円滑に行うためのコツを確認させる。	○			
	Lesson1 #Share Your World	<題材内容とねらい> ・SNS のメリットやデメリットについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、最近の出来事などに関する投稿文を書いたり、伝え合うことができる。 <文型・文法事項> ・現在・過去・未来、助動詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・日本語と英語の語順の違いに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での SNS の投稿文の特徴を理解し、読み手に配慮して、わかりやすく投稿文を書こうとしている。	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
5	Additional Lesson 1 Ask Friends and Followers for Advice on Social Media	<題材内容とねらい> ・こゃんこの投稿やそれに対するコメントの内容を理解することができる。 ・困っていることや悩みに関する投稿文を書くことができる。		○	○	・授業での取り組み

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
6	Lesson 2 I Was Drinking Chocolate!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョコレートの歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きな食べ物や飲み物についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行形、不定詞、動名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく発表しようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 2 Let's Buy Fair-trade Chocolate!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードに関するリーフレットの内容を理解することができる。 ・フェアトレード商品を買いたいかどうか話することができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
	Lesson 3 Inspiration on the Ice	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽生結弦選手の活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、羽生選手への応援メッセージを書くことができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O(=that-節)、現在完了形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく応援メッセージを書こうとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
7	Additional Lesson 3 Good to Be Different	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一ノ瀬メイ選手のインタビューの内容を理解することができる。 ・different なことからについて話すことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
	<p>第1学期の評価方法</p> <p><評価の対象></p> <p>①期末考査の成績、②Lesson 1～3、Additional Lesson 1～3 各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					
9	Lesson 4 Esports' Time Has Arrived	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツの特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、創作したゲームキャラクターに関する説明文を書いて、それを伝えることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較(比較級・最上級・原級)、S+V+O+to-不定詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語が指す内容に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、わかりやすくゲームキャラクターの紹介をしようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 4 Welcome to an Esports Tournament!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・e スポーツのトーナメントに関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・日本の高校生がトーナメントに参加しやすい条件について書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
10	Lesson 5 Mansai, Kyogen Performer	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村萬斎さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、日本の文化や芸能について説明をし、質疑応答やコメントをすることができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
		<文型・文法事項> ・分詞(現在分詞・過去分詞), It is ... (for A) to ~について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(説明・描写, 提案)を理解し, 事実や情報, 自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 <場面・状況など> ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して, わかりやすく日本の文化や芸能について説明しようとしている。	○			
	Additional Lesson 5 "Favorite" Encounters	<題材内容とねらい> ・今野玲央さんの SNS の投稿の内容を理解することができる。 ・あなたが好きなことやものに関するきっかけなどについて話すことができる。		○ ○		・授業での取り組み
11	Lesson 6 <i>In this Corner of the World</i>	<題材内容とねらい> ・『この世界の片隅に』の特徴についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 『この世界の片隅に』の一節を演じることができる。 <文型・文法事項> ・現在完了進行形, 関係代名詞(主格・目的格), S+V+O(=疑問詞節)について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(相づち, 聞き直し)を理解し, 円滑にコミュニケーションをすることができる。 <場面・状況など> ・英語のシナリオの特徴を理解し, 聞き手に配慮して, わかりやすく演じようとしている。	○	○ ○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 6 Japanese Students Appeal for World Peace	<題材内容とねらい> ・日本の高校生の活躍に関する新聞記事の内容を理解することができる。 ・あなたが世界平和のためにできることについて書くことができる。		○ ○		・授業での取り組み
	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours?	<題材内容とねらい> ・24 時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, オリジナルの店舗についてディスカッションをすることができる。 <文型・文法事項> ・S+V+O+O(=that-節), 助動詞+受け身, 関係代名詞 what, 過去完了形について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・言語の働き(質問, 共感, 驚き)を理解し, 円滑にコミュニケーションをすることができる。 <場面・状況など> ・英語でのディスカッションの方法を理解し, 聞き手に配慮して, わかりやすく話そうとしている。	○	○ ○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
12	Additional Lesson 7 The Changing Meaning of "Convenience"	<題材内容とねらい> ・コンビニエンスストアに関する英文の内容を理解することができる。 ・グラフから読み取れることについて話すことができる。		○ ○		・授業での取り組み
第 2 学期の評価方法 <評価の対象> ①期末考査の成績, ②Lesson 4~7, Additional Lesson 4~7 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
1	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI の特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、グラフから自動運転車に関する日本人とアメリカ人の意識の違いを読み取り、それを説明することができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・some / others, 分詞構文, 関係副詞 (where, when, why, how) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスコースマーカ―に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 8 Machine Translation: No Need to Learn English?	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械翻訳に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・機械翻訳の便利な点と問題点について書くことができる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
2	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、学校の環境問題の改善を訴えるためのパラグラフを書くことができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+C(=原形不定詞・現在分詞), 条件を表す if-節, 仮定法過去について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での SNS の投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく環境改善を訴えるパラグラフを書こうとしている。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 9 A Boy Helps to Solve the Microplastic Problem	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイクロプラスチック問題に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・プラスチックを使わない生活が可能かどうか話すことができる。 			○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
3	Optional Lesson A Retrieved Reformation	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを伝え合うことができる。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。	○			
<p>第3学期の評価方法</p> <p><評価の対象></p> <p>①学年末考査の成績, ②Lesson 8~9, Additional Lesson 8~9, Optional Lesson 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p> <p>学年の評価方法</p> <p>①知識・技能, ②思考・判断・表現, ③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して、年間の評価とする。</p>						

沖縄県立久米島高等学校

令和5年度 普通科 1年 〈シラバス〉

教科【英語】 科目名【論理・表現 I】 単位数【2単位】

使用教材 【 VISTA Logic and Expression 三省堂】

学習の目標

英語学習の特質を踏まえ、話すこと [やり取り], 話すこと [発表], 書くことの三つの領域の資質・能力を一体的に育成する。

評価の観点・評価方法

分野	方法
◆知識・技能	授業プリント/授業での豆テスト
◆思考力・判断力・表現力	パフォーマンステスト / 授業プリント
◆主体的に学習にむかう態度	毎授業の Evaluation Sheet / ルーブリック振り返りシート

学習内容

※領域・・・ L:聴く R:読む Sや:話す(やりとり) S発:話す(発表) W:書く

学期	Lesson	学習内容	主な領域					配当時間
			L	R	Sや	S発	W	
1 学期	4月 Let's Start 1~4	主な「つなぎ言葉」の意味を理解して、まとまった文章を書くことにつなげる。基本となる英語の文の語順を理解する。					○	4
	4月 Lesson 1 Bouldering? How nice!	「クラブ活動」や「高校でしてみたいこと」などについて、インタビュー形式で対話をする。	○		○			2
	4月 Lesson 2 Famous People	「歴史上の人物」について、過去形(be動詞 / 一般動詞)を用いて、対話をする。 「歴史上の人物」に関連する内容で、過去形(be動詞 / 一般動詞)を用いた表現を理解する。	○			○	○	3
	5月 Lesson 3 Aquarium Adventure	「今していること」や「過去にしていたこと」について、現在進行形および過去進行形を用いて、対話をする。	○		○		○	3
	5月 Daily Conversation 1 Can I try it on?	「買い物」に関するその他の表現について、理解を深める。			○			1
	6月 Lesson 4 My Summer Plan JAXA へ行くよ	「夏休みの予定」について、未来表現(will / be going to)を用いて、自分のことに変えて対話をする。				○		2
	6月 Lesson 5 UFO Sightings	「自分が経験したこと」について、現在完了形(経験 / 継続)を用いて、対話をする。				○	○	3

	7月	Lesson 6 Homestay	「完了したこと」や「継続していること」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。	○		○		○	3	
	7月	Daily Conversation 2 I'll have it.	「レストラン」「カフェ」での表現に関するその他の表現について、理解を深める。			○			1	
2 学 期	9月	Lesson 7 Which is faster?	「いろいろなものの比較」について、比較(比較級 / 最上級 / as ... as ~)を用いて、自分のことに変えて対話をする。			○			2	
	9月	Lesson 8 Great Inventions	「発明品」について、助動詞(can / may)を用いて、対話をする。 「発明品」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。			○		○	3	
	10月	Lesson 9 Save the Earth	「環境問題」について、助動詞 (must / have to / should) を用いて、対話をする。			○			3	
	10月	Daily Conversation 3 Where is the bus stop?	「道案内」の表現に関する主な語句や表現を理解する。			○			1	
	11月	Lesson 10 Masterpiece	「芸術作品」について、受動態を用いて、対話をする。			○			2	
	11月	Lesson 11 My Future Job	「将来になりたい職業」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。					○	○	3
	12月	Lesson 12 World Heritage	「世界遺産」について、「Hints」を参考にして、情報や考えをメモとして書く。					○	3	
	3 学 期	1月	Lesson 13 Pictogram	「ピクトグラム」について、分詞(現在分詞 / 過去分詞)を用いて、自分のことに変えて対話をする。			○			2
1月		Lesson 14 Cool Japan	「日本文化」について、関係代名詞を用いて、対話をする。			○			3	
2月		Lesson 15 What's SDGs ?	「SDGs」について、自分の考えや気持ち、情報などを書いてまとめる。					○	3	

外国語 英語コミュニケーション I (園芸科) シラバス

令和5年度

使用教科書：Vivid English Communication I (第一学習社)

「英語コミュニケーション I」	単位数	2 単位	学科	園芸科	学年・ 学級	第2年 1組
-----------------	-----	------	----	-----	-----------	--------

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
4	オリエンテーション	「英語コミュニケーション I」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。				
	Lesson 3 Inspiration on the Ice 前半パート	<題材内容とねらい> ・羽生結弦選手の活躍についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、羽生選手への応援メッセージを書くことができる。 <文型・文法事項> ・S+V+O(=that-節)、現在完了形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <場面・状況など> ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、わかりやすく応援メッセージを書こうとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
5	Lesson 3 Inspiration on the Ice 後半パート	<題材内容とねらい> ・羽生結弦選手の活躍についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、羽生選手への応援メッセージを書くことができる。 <文型・文法事項>		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
		<ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O(=that-節), 現在完了形, 受け身について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の特徴に注意して, 英文を発音することができる。 <場面・状況など> ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して, わかりやすく応援メッセージを書こうとしている。 	○			
6	Additional Lesson 3 Good to Be Different	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> ・一ノ瀬メイ選手のインタビューの内容を理解することができる。 ・different なことがらについて話すことができる。 		○		・授業での取り組み
	Additional Lesson 3 Good to Be Different	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> ・一ノ瀬メイ選手のインタビューの内容を理解することができる。 ・different なことがらについて話すことができる。 		○	○	・パワーポイントの提出 ・発表の評価
	Lesson 4 Esports' Time Has Arrived 前半パート	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> ・e スポーツの特徴についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 創作したゲームキャラクターに関する説明文を書いて, それを伝えることができる。 <文型・文法事項> ・比較(比較級・最上級・原級), S+V+O+to-不定詞について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・指示語が指す内容に注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して, わかりやすくゲームキャラクターの紹介しようとしている。 		○	○	・授業での取り組み ・授業での取り組み
7	Lesson 4 Esports' Time Has Arrived 後半パート	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> ・e スポーツの特徴についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 創作したゲームキャラクターに関する説明文を書いて, それを伝えることができる。 <文型・文法事項> ・比較(比較級・最上級・原級), S+V+O+to-不定詞について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・指示語が指す内容に注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での質問サイトの投稿文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して, わかりやすくゲームキャラクターの紹介しようとしている。 		○		・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			○	○	○	○
<p>1学期の評価方法</p> <p><評価の対象></p> <p>①学期末考査の成績, ②Lesson 3~4, Additional Lesson 3~4, Optional Lesson 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>						

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
9	Lesson 5 Mansai, <i>Kyogen</i> Performer	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野村萬齋さんの活躍についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、日本の文化や芸能について説明をし、質疑応答やコメントをすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分詞(現在分詞・過去分詞), It is ... (for A) to ~について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の働き(説明・描写、提案)を理解し、事実や情報、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、わかりやすく日本の文化や芸能について説明しようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 5 "Favorite" Encounters	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今野玲央さんの SNS の投稿の内容を理解することができる。 ・あなたが好きなことやものに関するきっかけなどについて話すことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
10	Lesson 6 <i>In this Corner of the World</i>	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・『この世界の片隅に』の特徴についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、『この世界の片隅に』の一節を演じることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了進行形、関係代名詞(主格・目的格), S+V+O(=疑問詞節)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の働き(相づち、聞き直し)を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のシナリオの特徴を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく演じようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 6 Japanese Students Appeal for World Peace	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の高校生の活躍に関する新聞記事の内容を理解することができる。 ・あなたが世界平和のためにできることについて書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
11	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 前半パート	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、オリジナルの店舗についてディスカッションをすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(=that-節), 助動詞+受け身、関係代名詞 what, 過去完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の働き(質問、共感、驚き)を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのディスカッションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく話そうとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Lesson 7 Should Stores Stay Open for 24 Hours? 後半パート Additional Lesson 7 The Changing Meaning of "Convenience"	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・24 時間営業店舗のメリット・デメリットや歴史についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、オリジナルの店舗についてディスカッションをすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・S+V+O+O(=that-節), 助動詞+受け身、関係代名詞 what, 過去完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の働き(質問、共感、驚き)を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 <p><場面・状況など></p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題 ・授業での取り組み

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
12		<ul style="list-style-type: none"> 英語でのディスカッションの方法を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく話そうとしている。 <題材内容とねらい> コンビニエンスストアに関する英文の内容を理解することができる。 グラフから読み取れることについて話すことができる。 	○	○	○	
	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence 前半パート	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> AI の特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 整理した内容を活用して、グラフから自動運転車に関する日本人とアメリカ人の意識の違いを読み取り、それを説明することができる。 <文型・文法事項> some / others, 分詞構文, 関係副詞 (where, when, why, how) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ディスコースマーカーに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> 英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 課題などの提出状況 評価問題
	Lesson 8 Our Future with Artificial Intelligence 後半パート	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> AI の特徴や活用事例についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 整理した内容を活用して、グラフから自動運転車に関する日本人とアメリカ人の意識の違いを読み取り、それを説明することができる。 <文型・文法事項> some / others, 分詞構文, 関係副詞 (where, when, why, how) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ディスコースマーカーに注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> 英語で統計データを説明する際の注意点を理解し、聞き手に配慮して、わかりやすく説明しようとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 課題などの提出状況 評価問題
第2学期の評価方法 <評価の対象> ①学期末考査の成績、②Lesson 5~8, Additional Lesson 5~8, Optional Lesson 各課の評価問題の成績、③授業への取り組みの様子、④課題の提出状況と解答内容、⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
1	Lesson 9 Stop Microplastic Pollution!	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> 海洋プラスチック汚染についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 整理した内容を活用して、学校の環境問題の改善を訴えるためのパラグラフを書くことができる。 <文型・文法事項> S+V+O+C(=原形不定詞・現在分詞), 条件を表す if-節, 仮定法過去について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> パラグラフの構造に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> 英語での SNS の投稿文の特徴を理解しようとしている。 読み手に配慮して、わかりやすく環境改善を訴えるパラグラフを書こうとしている。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み 課題などの提出状況 評価問題
	Additional Lesson 9 A Boy Helps to Solve the Microplastic Problem	<ul style="list-style-type: none"> <題材内容とねらい> マイクロプラスチック問題に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 プラスチックを使わない生活が可能かどうか話すことができる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業での取り組み

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
2	Optional Lesson A Retrieved Reformation	<題材内容とねらい> ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連する自分の考えを伝え合うことができる。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。		○		
3	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。		○		
	発音してみよう	教科書で用いられる発音記号とその発音方法を説明する。		○		
第3学期の評価方法 <評価の対象> ①学年末考査の成績, ②Lesson 8~9, Additional Lesson 8~9, Optional Lesson 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						

令和5年度 外国語 英語コミュニケーションⅡ(普通科) シラバス

科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4	学年	2	
使用教科書	Vivid English Communication II (第一学習社)			副教材等	なし	

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
4	オリエンテーション	「英語コミュニケーションⅡ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。				
	Lesson 1 Japanese Athletes and English	<題材内容とねらい> ・日本人アスリートと英語についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、日本人アスリートについてスピーチをすることができる。 <文型・文法事項> ・進行形、受け身、S+V+C (=現在分詞・過去分詞) について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 <場面・状況など> ・英語でのスピーチの方法を理解し、聞き手に配慮して、詳しく話そうとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 1 Naomi Osaka's Interview after the 2018 U.S. Open	<題材内容とねらい> ・大坂なおみ選手のインタビューの内容を理解することができる。 ・大坂なおみ選手に聞いてみたいことについて話すことができる。		○	○	・授業での取り組み
5	Lesson 2 Our Beloved Yellow Fruit	<題材内容とねらい> ・バナナの特徴や危機についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、好きな果物や野菜についてプレゼンテーションをし、質疑応答をすることができる。 <文型・文法事項> ・seem to ～, It is ... (for A) to ～, 強調について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・主題文と支持文の関係に注意し、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、詳しく発表しようとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
6	Additional Lesson 2 Enjoy Making Delicious Banana Muffins	<題材内容とねらい> ・バナナマフィンのレシピやそれに対するコメントの内容を理解することができる。 ・だれにどんな料理を作りたいかについて話すことができる。		○	○	・授業での取り組み
	Lesson 3 Preparing for Potential Risks	<題材内容とねらい> ・自然災害と防災についての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ハザードマップから読み取ったことについてプレゼンテーションをすることができる。 <文型・文法事項> ・It is+形容詞+that-節, 完了形, 完了形(受け身)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・指示表現や言い換え表現に注意して、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語でのプレゼンテーションの方法を理解し、聞き手に配慮して、詳しく発表しようとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 3 A New Map Symbol	<題材内容とねらい> ・新しい地図記号に関する対話の内容を理解することができる。 ・防災や防犯のための地図アプリについて書くことができる。		○	○	・授業での取り組み
	Lesson 4 To Make a More Open Society	<題材内容とねらい> ・国際化する日本の状況と開かれた社会にするために重要なことについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、文化交流イベントのポスターを作り、発表することができる。 <文型・文法事項> ・S+V+O+O(=名詞節), 関係代名詞(制限用法・非制限用法)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文と文のつながりを示す語句に注意して、英文を書くことができる。 <場面・状況など> ・英語のポスターの特徴を理解し、読み手に配慮して、詳しくポスターを書こうとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
7	Additional Lesson 4 Breaking Bread Together; Sharing Different Cultures	<題材内容とねらい> ・カナダのベーグル店に関するニュースの内容を理解することができる。 ・ニュースを聞いて考えたことについて話すことができる。		○	○	・授業での取り組み
<p>第1学期の評価方法 <評価の対象> ①期末考査の成績, ②Lesson 1~4, Additional Lesson 1~4 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>						
9	Lesson 5 True Love between a Cat and a Dog	<題材内容とねらい> ・ネコのくうと犬のしのがともに過ごした時間ときずなについての確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、写真に合うくうとしのの会話を創作し、写真の説明を発表することができる。 <文型・文法事項> ・群動詞(受け身), 進行形(受け身), 関係副詞(制限用法・非制限用法)について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・未知語の意味を推測しながら、英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語のブックレビューの特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、詳しく写真の説明をしようとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 5 Cats or Dogs?	<題材内容とねらい> ・ネコと犬に関する新聞記事の内容を理解することができる。 ・ネコ派か犬派かについて話すことができる。		○	○	・授業での取り組み

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
10	Optional Lesson 1 The Joker	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーの展開を的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ストーリーに関連したやり取りをすることができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Lesson 6 A Society with Drones	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンのメリットや問題点、今後の展望についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、ドローンの活用の是非についてピンポンディベートをすることができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文（現在分詞）、「推量」を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の展開に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語での対話文の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、ドローンの活用の是非について詳しく話そうとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 6 A Drone Changed My Life	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梨智樹さんのインタビューの内容を理解することができる。 ・自分に自信を与えてくれた出来事について書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
11	Lesson 7 “Cloning” Cultural Properties	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパークローン文化財の役割や重要性についての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、保存すべき文化財や芸術作品を紹介することができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「時」や「理由」などを表す副詞節、分詞構文（過去分詞）、関係代名詞 ... 前置詞、前置詞+関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・句読法に注意して、英文を理解することができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語の広告の特徴を理解しようとしている。 ・聞き手に配慮して、文化財や芸術作品を詳しく紹介しようとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 7 Art Doctors	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩井希久子さんの絵画保存の仕事に関する雑誌の内容を理解することができる。 ・絵画保存の仕事について感じたことを書くことができる。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み
	Lesson 8 Peace Messages from Hiroshima	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな人からの平和のメッセージについての的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して、世界平和のために活動している人たちについて書くことができる。 <p><文型・文法事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒置，S+V+O+C（=原形不定詞・現在分詞・過去分詞）、同格のthatについて理解を深め、これらを適切に活用することができる。 <p><五領域の知識・技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり取りを工夫して続ける方法を理解し、円滑にコミュニケーションをすることができる。 <p><場面・状況など></p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語でのディスカッションの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して、詳しく感想を書こうとしている。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
12						

月	学習項目	学習内容(ねらい)	a	b	c	評価方法
	Additional Lesson 8 A Monument Calling for Peace	<題材内容とねらい> ・ローマ法王平和アピール碑に関するウェブサイトの内容を理解することができる。 ・平和のメッセージを考えて書くことができる。		○	○	・授業での取り組み
第2学期の評価方法 <評価の対象> ①期末考査の成績, ②Lesson 5~8, Additional Lesson 5~8, Optional Lesson 1 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
1	Lesson 9 Invigorating Our Local Community	<題材内容とねらい> ・若者の地域社会への参画や貢献についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 自分の地域社会への関わり方について書くことができる。 <文型・文法事項> ・省略, 完了不定詞, All you have to do is (to) ~, 仮定法について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文と文のつながりを示す語句に注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語でのインタビューの方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して, 地域社会への関わり方について詳しく書こうとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 9 Your Ideas May Change Society	<題材内容とねらい> ・地域活性化のアイデアコンテストのパンフレットの内容を理解することができる。 ・コンテストに向けた自分のアイデアを書くことができる。		○	○	・授業での取り組み
2	Lesson 10 The Underside of Wildlife Tourism	<題材内容とねらい> ・ワイルドライフツーリズムの裏側と SNS の影響についての確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, 写真から読み取れる環境問題について論理的な文章を書くことができる。 <文型・文法事項> ・倒置, 分詞構文(完了形), as if+仮定法, 複合関係詞について理解を深め, これらを適切に活用することができる。 <五領域の知識・技能> ・文章全体の展開に注意して, 英文を理解することができる。 <場面・状況など> ・英語での SNS の利用方法を理解しようとしている。 ・読み手に配慮して, 環境問題について詳しく論理的な文章を書こうとしている。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	Additional Lesson 10 Maria Island Pledge	<題材内容とねらい> ・「マリア島宣誓」に関する雑誌の内容を理解することができる。 ・身近な動物への宣誓の内容を話すことができる。		○	○	・授業での取り組み
3	Optional Lesson 2 Information Please	<題材内容とねらい> ・ストーリーの展開を的確に理解し, その内容を整理して伝えることができる。 ・整理した内容を活用して, ストーリーに関連する自分の考えを伝え合うことができる。		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
第3学期の評価方法 <評価の対象> ①学年末考査の成績, ②Lesson 9~10, Additional Lesson 9~10, Optional Lesson 2 各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うパフォーマンス課題の実施状況。 評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。						
学年の評価方法 ①知識・技能, ②思考・判断・表現, ③主体的に学習に取り組む態度の3つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して, 年間の評価とする。						

1. 教科：英語
2. 科目名：基礎英語
3. 単位数：2単位
4. 使用教材：総合英語 Evergreen English Grammar 23 Lessons いいずな書店
5. 学習の目標：これまでに習った文法の確認と豊富な練習問題により、基礎的事項の定着を図る。
6. 評価方法：定期考査、小テスト、授業における発表・態度・提出物等
7. 学習計画

学期		学習内容	配当時間	
1 学期	4月	Intro1~5	文の種類と文型 肯定文・否定文、命令文、疑問詞を使った疑問文等	4
	5月	Lesson 1 ~ Lesson 4	動詞と時制 完了形(1) 現在形・過去形・未来形 現在完了形・現在完了進行形	8
	6月	Lesson 5 ~ Lesson 7	完了形(2) 助動詞 動詞と文型 助動詞の役割、能力・可能、許可、依頼、義務等 自動詞・他動詞	8
	7月	Lesson 8 ~ Lesson 9	態(1)、(2) 能動態・受動態、助動詞を使った受動態、進行形の受動態、完了形の受動態	6
2 学期	9月	Lesson10 ~ Lesson 12	不定詞(1)、(2)、(3) to不定詞の役割、不定詞の用法 独立不定詞	8
	10月	Lesson13 ~ Lesson16	動名詞 動名詞の働き、受動態の動名詞、完了形の動名詞 現在分詞・過去分詞 分詞構文の形と働き、分詞構文の否定語の位置等	8
	11月	Lesson17 ~ Lesson20	比較(1)、(2) 関係詞(1)、(2) 原級・比較級・最上級、原級を使った比較級 主格・目的格・所有格 前置詞と関係詞、限定用法・継続用法	8
	12月	Lesson21	関係詞(3) 関係副詞 where / when / why / how 複合関係詞 ・譲歩をあらわす複合関係詞	4
3 学期	1月	Lesson22 ~ Lesson23 Option1~3	仮定法(1)、(2) 疑問詞と疑問文 否定・時制の一致と 話法(1) 直説法・仮定法、仮定法過去、仮定法過去完了 疑問詞と前置詞、間接疑問、否定疑問文 否定語と否定の範囲、位置、準否定語、部分否定 直接話法と間接話法	8
	2月	Option4~7	否定・時制の一致と 話法(2) 無生物主語 強調構文 人称代名詞、所有代名詞、itを主語とする表現	6
	3月	Option8,9	前置詞(1)、(2) at / in / on / from / to / for / until / by 等	2

8. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の3つの観点から行います。

知識・技能	基本的な英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。
思考・判断・表現	情報や考えなど伝えたいことを学習した文法項目を用いて話したり、書いたりして表現できているか。
主体的に学習に取り組む態度	英語を通じたコミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行っているかどうか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年3回の定期考査 ・英作文、スピーチ（①アイコンタクト、②声の大きさ、③正しい発音と抑揚、④語彙の使用状況の評価します。） ・レポート（①分量、②内容〔論理性・具体性〕、③文法） ・自己評価、授業評価の際に記入したプリント
- ・学習活動への参加の状況（ペア・ワーク、グループ・ワークの取組、授業中の発言の内容等） ・ノート ・ワークシート

外国語 英語会話シラバス

令和5年度

使用教科書：SELECT English Conversation

「英語会話」	単位数	2 単位	学科	園芸科	学年・学級	第3年 1組
--------	-----	------	----	-----	-------	--------

評価の観点			
a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	課	タイトル	主な言語材料	指導上の留意点	a	b	c	d	配当時間
I	4	自己紹介	自己紹介ゲーム		・スカーになったつもりで自己紹介をさせる。	○	○	○	○	1
		Lesson 1	New Friends	未来表現 be going to 不定詞名詞用法	・この課の言語材料を使用し、「自分の趣味や興味があること」について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・自分のことについてみんなの前で発表させる。	○	○	○	○	6
	5	Lesson 2	Free Time	現在形 過去形	・この課の言語材料を使用し、「日常的にすること」「先週末にしたこと」「今週末の予定」について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・週末の予定をインビュシ発表させる。	○	○	○	○	8
	6	Lesson 3	Are You Okay?	現在進行形 助動詞：should, need to, must	・この課の言語材料を使用し、体調が悪そうな友人に「体をいたわること」をすすめる表現を学ばせる。 ・グループになって他人の体調を聞き取る活動を行わせる。	○	○	○	○	7
		留学日記 1	The Host Family's House		・留学先のホストファミリーでよく使う表現に親しみ、英語圏の家庭生活などの文化を学ばせる。	○			○	0.5
		Games 1	Square Game		・英語の指示を聞いて、絵などを描かせる。			○		0.5
	7	Lesson 4	Our School	How many ... ? There is / are ...	・この課の言語材料を使用し、「在籍生徒数」「有名な行事」等について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・架空の学校を設定しそのインビュシ結果を発表させる。	○	○	○	○	5
II	9	Lesson 5	Weather	How is ... ? What is ... ? 助動詞：will	・この課の言語材料を使用し、「天気予報」について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・英語圏の「天気の良いさつ」について学ばせる。	○	○	○	○	4
		Lesson 6	TV Programs	What kind of ... ? Who is ... ? 動名詞	・この課の言語材料を使用し、一般的な活動を動名詞で表現し、それについて書いたり話したりする表現に親しませる。 ・テレビ番組についてインビュシ発表させる。	○	○	○	○	4
	10	留学日記 2	Helping the Family		・ホームステイ先での食事の手伝いに関する表現を学ばせる。	○			○	0.5
		Game 2	Guess What Game		・英語の説明を聞いてそれが何を指しているかあてさせる。	○		○		0.5
		Lesson 7	Talking on a Cell Phone	助動詞：can Where ... ? 現在完了形（完了用法）	・電話での会話表現を学ばせる。 ・この課の言語材料を使用し、「送ったメールを読んだか」尋ねる表現を学ばせる。 ・モバイルによる携帯電話での待ち合わせの会話をさせる。	○	○	○	○	7
	11	Lesson 8	Telling the Way	第4文型 SVOO 命令文	・この課の言語材料を使用し、「道順」を尋ねる表現とその応対について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・ペアワークで地図を見ながら目的地を探す活動をさせる。	○	○	○	○	7.5
		留学日記 3	School Life		・アメリカの学校生活について学ばせる。			○	○	0.5
	12	Lesson 9	Kyoto	How long ... ? 助動詞：have to	・この課の言語材料を使用し、「交通機関」や「所要時間」を尋ねる表現とその応対について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・ペアワークで地図を見ながら京都の名称への道順を学ばせる。	○	○	○	○	4
		Lesson 10	Shopping	SV [be 以外] C 助動詞：may How about ... ?	・この課の言語材料を使用し、「買いたい物を選ぶ場面」について書いたり話したりする表現に親しませる。 ・ペアワークで買い物についてのやりとりを学ばせる。	○	○	○	○	4

Ⅲ	1	Lesson 11	Restaurant	不定詞形容詞用法 助動詞：would	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「食事の注文」について書いたり話したりする表現に親しませる。 ロールプレイで食事注文の会話をさせる。 	○	○	○	○	3
		留学日記 4	Enjoying Holidays		<ul style="list-style-type: none"> アメリカでの休日の楽しみについて学ばせる。 			○	○	0.5
		Game 3	Math Bingo Game		<ul style="list-style-type: none"> 簡単な英語の算数ゲームに親しませる。 		○	○		0.5
		Lesson 12	Making a Plan	Let's Shall we ...?	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「いつ」「どこで」待ち合わせるかについて書いたり話したりする表現に親しませる。 ペアワークで予定を調整し、人との待ち合わせを学ばせる。 	○	○	○	○	3
	2	Lesson 13	Future Jobs	Why...? Because ... 不定詞副詞用法	<ul style="list-style-type: none"> この課の言語材料を使用し、「就きたい仕事とその理由」について書いたり話したりする表現に親しませる。 クラスメートの将来についてインタビューさせてそれを発表させる。 	○	○	○	○	3
		【付録】 1.亜紀と拓の留学日記（日本語訳） 2.教室で使う表現 3.よく使う会話表現 4.Listening セクション音声スクリプト								合計 70

令和5年度 外国語 コミュニケーション英語Ⅲ（普通科） シラバス

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	4	学年	3
使用教科書	(Ⅲ345) Vivid English Communication Ⅲ New Edition (第一学習社)		副教材等	なし	
学習の到達目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし、社会生活において活用できるようにする。</p> <p>具体的言語活動は次の通り。</p> <p>ア. 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p> <p>イ. 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。</p> <p>ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p> <p>エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>				

評価の観点

a. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	b. 外国語表現の能力	c. 外国語理解の能力	d. 言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

学期	月	種	学習項目	学習内容	評価の方法			
					a	b	c	d
1学期	4月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法などについて説明する。				
			1学期中間考査	Get Ready 1	<ねらい> 意味のまとまりごとに区切って英文を読み、内容を把握することができる。			○
		Get Ready 2	<ねらい> 英文を読み、代名詞の指す内容を理解することができる。			○		
	5月	Get Ready 3	<ねらい> つながりの語句に注意して英文を読み、文と文の関係や論の展開をつかむことができる。			○		
		Get Ready 4	<ねらい> 英文を読み、主題文と指示文がどれであるか把握し、パラグラフ全体の概要をつかむことができる。			○		
6月	1学期期末考査	Get Ready 5	<ねらい> 英文を読み、導入・展開・まとめなど文章の構成を把握し、英文全体の流れをつかむことができる。			○		
		Lesson 1 Happy Nations	<題材内容とねらい> ・ コスタリカとブータンの例から、幸福を測る指標について読み取らせる。 ・ 幸福であるとはどういうことか、自ら考えさせる。 ・ 自分に幸福を感じさせるものや日本国民を幸せにするためのアイデアを発表させる。 <言語材料> 助動詞+have+過去分詞、独立不定詞を理解し、文を作ることができる。	○	○	○	○	

	7月		Lesson 2 "Gamification": Games May Save the World	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゲーミフィケーション」の理論と、それが私たちの生活に活用されている例を読み取らせる。 ・「ゲーミフィケーション」がもたらす効果や、今後どのような分野に応用されるかについて自ら考えさせる。 ・オンラインゲームや節電方法について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>省略, 無生物主語を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	第1学期の評価方法			<p><評価の対象></p> <p>①中間考査及び期末考査の成績, ②Get Ready 1~5, Lesson 1~2の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					
2学期	9月	2学期 中間考査	Lesson 3 Spider Silk Spun into Violin Strings	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クモの糸でできた弦が使われたバイオリンの特徴について読み取らせる。 ・クモの糸のもつ可能性について自ら考えさせる。 ・クモの巣と楽器について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>代動詞, 部分否定を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Lesson 4 Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話のリサイクルがコンゴのゴリラとどのような関わりがあるかを読み取らせる。 ・生物や環境を守る取り組みについて自ら考えさせる。 ・リサイクル製品や絶滅の危機に瀕した動物について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>It is said that ..., 比較級+and+比較級を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	10月		Lesson 5 Gagaku, the Music of the Universe	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東儀秀樹さんの雅楽と日本文化についての考え方を読み取らせる。 ・自国の文化に対する理解を深め, 雅楽の魅力について考えさせる。 ・日本の伝統音楽や伝統芸能について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>分詞構文(完了形), 関係副詞の非制限用法を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	11月	2学期 期末考査	Lesson 6 Etymology: Wonders of Words	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・語の歴史や起源について読み取らせる。 ・英単語の語源や語義変化について考えさせる。 ・英単語に関して自分のもっている知識を発表させる。 <p><言語材料></p> <p>文修飾副詞, 準否定語を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	12月		Lesson 7 A Lesson from Steve Jobs' Life	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スティーブ・ジョブズの生き方や考え方を読み取らせる。 ・自分の人生を生き抜くことの大切さについて自ら考えさせる。 ・自分にとって特別な人や印象的な出来事を発表させる。 <p><言語材料></p> <p>more A than B, 強調構文を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題

			Lesson 8 Water: The Biggest Problem in the Century	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界で起きている水危機の現状を読み取らせる。 ・水危機の解決のためにできることを自ら考えさせる。 ・節水の方法や、雨水と再利用水の利用法について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>未来のことを表す仮定法, if it were not for ... [if it had not been for ...]を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
第2学期の評価方法			<p><評価の対象></p> <p>①中間考査及び期末考査の成績, ②Lesson 3~8の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					
3 学期	1 月	学 年 末 考 査	Lesson 9 A Lucky Child	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホロコーストの悲劇を生き残ったトミー少年の人生を読み取らせる。 ・平和と人権の尊さについて自ら考えさせる。 ・幸運な経験, 人を手助けた経験や手助けしてもらった経験について発表させる。 <p><言語材料></p> <p>have+O+過去分詞, as if+仮定法を理解し, 文を作ることができる。</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	2 月		Further Reading 1 Information Please	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の言語材料に関する知識を使いながら, 長めの物語文を読ませて, その概要を読み取らせるとともに, 英文読解の楽しさを体験させる。 ・出来事の推移, 各場面における登場人物の心理などについて, 読み取らせる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Further Reading 2 Becky and the Wolf	<p><題材内容とねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の言語材料に関する知識を使いながら, 長めの物語文を読ませて, その概要を読み取らせるとともに, 英文読解の楽しさを体験させる。 ・出来事の推移, 各場面における登場人物の心理などについて, 読み取らせる。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
第3学期の評価方法			<p><評価の対象></p> <p>①学年末考査の成績, ②Lesson 9, Further Reading 1, 2の各課の評価問題の成績, ③授業への取り組みの様子, ④課題の提出状況と解答内容, ⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。</p> <p>評価の方法の観点別分類は別紙「評価の観点」に記載。</p>					
学年の評価方法			<p>①コミュニケーションへの関心・意欲・態度, ②外国語表現の能力, ③外国語理解の能力, ④言語や文化についての知識・理解の4つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して, 年間の評価とする。</p>					

科目(英語総合 I)

学科(普通科) 学年(3学年選択) 単位数(3単位)

使用教材(Seek next4 英語総合問題)第一学習社

1. 学習の目標

これまで学んだ文法の総復習をすることで、基礎的事項の定着を図り、大学受験及び専門学校等の英語の試験に備える。

2. 科目の特色

・文法基礎の総復習と大学受験レベルの問題演習を主な目的とし、「文法」「作文」を中心とし、「リスニング」「速読」「長文読解」の活動も取り入れながら学習する。高校の基礎レベルからセンター試験レベルまでのトレーニングを重ねる。

3. 学習内容

学期		学習内容	配当時間	
1 学期	4 月	第1章 動詞 第2章 動名詞	・動詞＋前置詞 ・用法を謝りやすい動詞 ・助動詞を用いた表現、助動詞に準ずる表現	11
	5 月	第3章 受動態 第4章 To-不定詞	・By 以外の前置詞を用いる受動態 ・They say that...の受動態 ・いろいろな to-不定詞	10
	6 月	第5章 動名詞 第6章 分詞	・動名詞を含む慣用表現 ・いろいろな動名詞 ・分詞を使った慣用表現、いろいろな分詞構文	11
	7 月	第7章 比較 第8章 関係詞	・比較を用いた表現 ・注意すべき比較表現 ・いろいろな関係詞	10
2 学期	9 月	第9章 仮定法 第10章名詞・代名詞	・いろいろな仮定法 ・用法を誤りやすい名詞と代名詞	11
	10 月	第11章副詞 第12章接続詞・前置詞	・文を修飾する副詞 ・2つの文の意味のつながりを示す副詞 ・群前置詞、群接続詞	11
	11 月	第13章特殊構文①	・否定語、部分否定、準否定語・二重否定・否定語を含まない否定表現	11
	12 月	第14章特殊構文②	・強調表現・倒置	8
3 学期	1 月	第15章特殊構文③	・名詞構文・無生物主語構文	8
	2 月	演習		5

4 評価の観点・方法 (及び年間の評定)

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	英語を通じたコミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行っているかどうか。
表現の能力	情報や考えなど伝えたいことを学習した文法項目を用いて話したり、書いたりして表現できているか。
理解の能力	英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを理解しているか。
知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているか。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・年5回の定期考査
- ・英作文、プレゼンテーション (①アイコンタクト、②声の大きさ、③正しい発音と抑揚、④自分の語彙の使用状況を評価します。)
- ・自己評価、授業評価の際に記入したプリント
- ・学習活動への参加の状況 (ペア・ワーク、グループ・ワークの取組、授業中の発言の内容等) ・ノート ・ワークシート